

急増

高齢者が関係する交通死亡事故多発！

高齢死者数全国順位（令和2年中）

	県名	死者数	全死者数
1	愛知	80人	154人
2	千葉	74人	128人
3	北海道	68人	144人

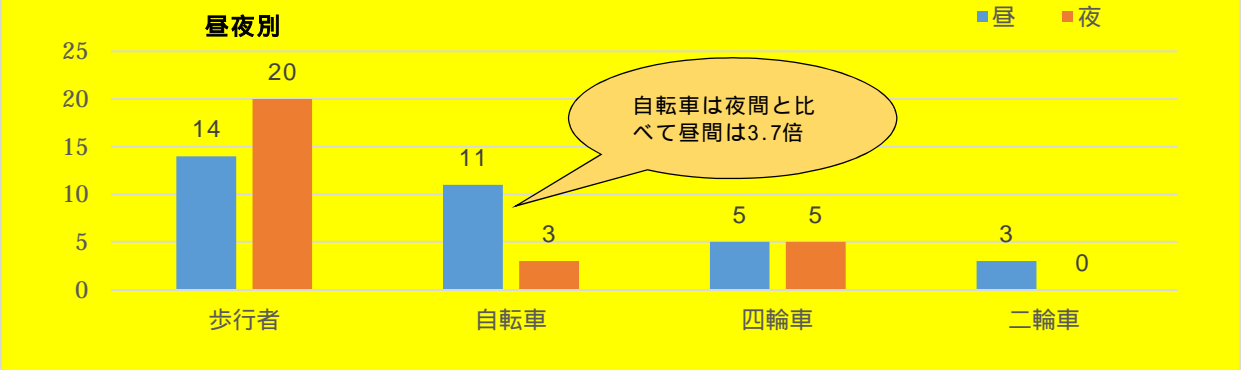
6	埼玉	61人	121人
全国		1596人	2839人

令和2年中、県内の交通事故死者数のうち、65歳以上の高齢者は61人で全体の半数を占めました。

また、今年に入っても高齢者の関係する交通死亡事故が多発している状況です。

高齢者のみなさん、交通ルールを守って、事故に遭わないようにしましょう。

高齢者事故の特徴（令和2年中）



交通事故を起こさない、遭わないための対策

ドライバーのみなさんは、スピードを落とす、ゆとりの持った距離をとるなど、思いやりのある運転に心がけましょう。



夜間に外出する時は、ドライバーに早く気付いてもらうため、反射材を付けましょう。相手から、自分を認識してもらうことが大切です。

事故に遭わないためにも、「斜め横断をしない」「横断歩道を渡るなど、一人一人が交通ルール、交通マナーを守りましょう。



埼玉県警では、道路交通法38条「歩行者優先義務」を遵守して模範運転を励行するKEEP38プロジェクトを実施しています。横断歩道の手前では、歩行者がいらないか確認しましょう。歩行者がいる時は、必ず一旦停止し、歩行者の通行を妨げないようにしましょう。